

九建日報

発行所

株式会社 九建日報社

〒812-0018 福岡市博多区住吉5-9-19

電話 代表 092(431)5361 番

FAX 092(431)7613 番

購読料 1ヵ月 6,300円

北九州支局

TEL093(921)5011 FAX093(932)1416

佐賀支局

TEL0952(34)5540 FAX0952(34)5541

長崎支局

TEL095(827)5535 FAX095(822)4840

熊本支局

TEL096(363)1553 FAX096(372)7427

大分支局

TEL097(543)5234 FAX097(543)5233

鹿児島支局

TEL099(259)3426 FAX099(259)3427

http://www.kyuukennippou.co.jp

ミラクルソル
協会が見学会

透・保水性舗装工法

最大で
8度差

表面温度の上昇抑制

【佐賀】ミラクルソル協会(原裕理事長)は十五日、ミラクルソル(発泡廃ガラス)を用いた透・保水性舗装工法の現場見学会「写真Ⅱ」を開催した。

この工法は佐賀県の平成十七年度第一回トライアル発注制度に採択されたもので、見学会には九州地方整備局、佐賀県、唐津市、武雄市などの官公庁職員、コンサルタント業者、建設業者ら約七十人が参加した。現場見学会に先立ち、日本建設技術の本社でミラクルソル工法の説明会を実施した。

原理事長は多数の参加に感謝した後「ミラクルソルはガラス廃材を再資源化したもの。透・保水性舗装工法は、このミラクルソルの特徴を活かし、地球温暖化、ヒートアイランド現象を抑制する工法として提案している。ミラクルソル工法については、現在、環境緑化工法、環境土木工法、水環境工法で十四の工法を提案しており、協会の活動を通じて普及を図っていきたい」と挨拶し、ミラクルソルの特徴や用途、工法などを詳しく解説した。その後、参加者は唐津市役所西側入口の「大手口佐志線

(一工区) 地方道路交付金工事(施工・日本建設技術)の現場に移動し、ミラクルソルの布設状況を見学した。

現場では、日本建設技術の安高進氏が「通常は、路床の上をクラッシュチャーランで固め、サンドクッション、インターロッキングを布設するが、透・保水性舗装工法はクラッシュチャーランの代わりにミラクルソルを使用し、透・保水性のインターロッキングを布設する。保水性の高いミラクルソルを路床や路盤材に用いることで、表面温度の上昇

を抑制した。実証試験では通常の場合と比べ、最大で約八度の温度差が生じた」と、施工方法などを説明した。

参加者は、ミラクルソルに水をかけてその特徴を確認したり、圧縮強度について尋ねるなど、新素材、工法についての理解を深めた。

